

一般質問通告順序表

No.1（令和8年9月10日）

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	竹之内 勉	市長 教育長	1. 第2期公共施設等総合管理計画について (1) 財源不足の根拠について伺う。 (2) 第1期目の取組の成果について伺う。 (3) 施設総量の削減目標について伺う。 (4) 施設の廃止・統合後の市民サービスについて伺う。 2. まぐろ産業振興策について (1) 昨年度予算に計上されたまぐろ漁業実態等調査事業の進捗状況とまぐろ母港基地化の考え方について伺う。 (2) 船員の個人住民税減免制度について伺う。 (3) 船員の婚活事業について伺う。 (4) 串木野まぐろフェスティバルの復活について伺う。
2	西 美香	市長 教育長	1. 自然災害時の給水体制について (1) 断水時の生活用水の確保について 大規模災害等により断水が発生した場合、飲料水だけでなく、トイレ、手洗い、洗面、洗濯等の生活用水の確保が重要である。市民の生活用水の確保をどのように考えているか。 (2) 給水車の運用体制について 本市が所有する給水車、給水タンクの状況、現在運転可能な職員数及び休日・夜間を含めた災害時の運用体制はどのようなになっているのか。 (3) 災害時や天候による渇水時の農業用水の確保について 近年の高温・少雨による渇水により農業用水が不足した場合、水稻、野菜、果樹への影響が懸念される。本市では、渇水時の農業用水をどのように確保し、農業者を支援する考えなのか。 (4) 給水車等の農業用水への活用について 農業生産を守るため、緊急的な給水支援体制を整備する考えはないか。 2. 避難所となる体育館の空調設備整備と避難所機能の充実について 近年、夏場の気温は年々上昇しており、特に、夏場の災害を想定した場合、避難所となる体育館には空調設備が必要不可欠である。体育館の空調設備の整備状況と災害時の避難所としての環境整備について伺う。 (1) 現在の体育館（避難所）の空調整備状況はどうか。 (2) 災害時の避難所としての課題はどうか。 (3) 今後の環境整備、整備方針について伺う。 (4) 政府は、避難所となる小中学校体育館への冷房設置を進める考えのようであるが、国の補助制度を活用し、計画的に整備を進めていってはどうか。

3	東 育 代	市 長 教 育 長	1. 学校給食について 国に先駆けて、市内在住の小中学校児童生徒へ学校給食費無償化の取組が始まった。今年度からは国の補助事業として公立小学校の児童を対象に給食費無償化となっている。 (1) 学校給食の無償化について現状と課題を伺う。 (2) 食物アレルギーの児童生徒への対応について伺う。 (3) 残食の過去の推移と傾向について伺う。 (4) 学校給食事業は、地域の農家にとって最大の食糧消費事業で、地産地消の取組を進める事が重要である。食材の地場産業提供の現状と地産地消の取組について伺う。 (5) 令和の米騒動による米不足から一転して米は供給過多となっている。米離れが進んでいるが、米飯給食を増やし、子どもたちの食生活を見直すきっかけになることを願っている。週 3 回の米飯給食を週 4 回にできないか伺う。 2. 8050 問題について (1) 仕事や学校に行かず、家族以外との交流がほとんどない大人の引きこもりが顕在化しているようである。引きこもりが長期化した 50 代の当事者と 80 代の親が孤立、困窮する 8050 問題について本市の現状はどうか伺う。 (2) 当事者や家族への相談支援体制はどうか伺う。
4	竹中 ひかり	市 長	1. MINATOよりあいオフィスの利活用について MINATOよりあいオフィスは、リモートワークの広がりを背景に 1 階コワーキングスペースが利用される一方、市外法人を対象とした 2 階オフィススペースは、開設から 4 年余りを経た現在も空きブースが続いている。商談やオンライン会議に利用できる個室の確保が求められる中、企業誘致の取組を継続しながら、空き期間における施設の有効活用を図る考えを問う。 (1) 1 階コワーキングスペースの利用状況の推移と、2 階オフィススペースのブースごとの入居実績について伺う。 (2) 市外法人の誘致に至っていない要因の分析と、令和 8 年度の I T 企業誘致支援業務委託による今後の取組について伺う。 (3) 商談やオンライン会議に利用できる個室の需要について、市の認識と把握の状況を伺う。 (4) 市外法人の入居が決まるまでの間、2 階の空きブースを時間単位の会議室として貸し出すことはできないか伺う。

一般質問通告順序表

No.2 (令和8年9月11日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
5	江口 祥子	市長	1. 成年後見制度について (1) 成年後見制度の利用促進について 成年後見制度は、認知症や知的障害などにより、判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、安心して生活を送るための大切な制度である。 ①本市における成年後見制度に対する取組状況等について伺う。 ②制度を必要とする方を早期に把握し、関係機関と連携して支援につながる体制づくりについて伺う。 ③成年後見制度の利用促進には、制度を分かりやすく周知するとともに、申立てにかかる費用などの負担軽減も重要と考える。本市として、申立費用や成年後見人等への報酬助成の現状と今後の支援拡充について伺う。 (2) 成年後見制度の法改正を踏まえた制度の利用促進について ①令和8年6月に成年後見制度などを見直す「民法等の一部を改正する法律」が成立し公布されたが、市はどのように認識しているか。また、市民に与える影響をどのように捉えているか伺う。 ②令和10年12月頃までの施行が見込まれる中、制度を利用している方やその家族に対する分かりやすい周知や相談体制の整備、さらには、成年後見制度利用促進計画や関連施策の見直しについても、今後準備を進めていく必要があると考えるが、本市の見解を伺う。 2. 障がいのある方の「親亡き後」の支援について (1) 本市における障がいのある方とそのご家族の「親亡き後」の生活について、市はどのような課題を把握しているか伺う。 (2) 親が元気なうちから関係機関につなぎ、将来の生活を一緒に考えていく「親亡き後を見据えた支援体制」を今後どのように整備していくか、本市の見解を伺う。 (3) 障がいのある方が「親亡き後」も住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、グループホームなどの住まいの確保や日常生活を支える相談、見守り体制の充実が必要である。本市における今後の支援体制について伺う。 (4) 保護者が元気なうちに子どもの将来に必要な情報（医療、福祉、財産等）を整理できるよう、障がい福祉に特化した「エンディングノート」や「親亡き後の支援ノート」の作成・普及について取り組む考えはないか伺う。
6	福山 修司郎	市長	1. 災害対策について (1) 令和8年熊本地震が発生したことに対して、市来断層帯がある本市の災害対策について伺う。 (2) 大災害が起きうることを前提に、職員一人一人の役割を理解してもらうための実務訓練をするべきではないか伺う。 2. 市の将来像について (1) 串木野駅東側、プリマハム跡地開発を計画されているが、それに伴う周辺市街地の形態がどのように変わると想定されているか伺う。 (2) 平江地区と塩田地区を結ぶ橋が今年度開通のめどがついたようだが、平江地区のまちづくりを検討するべきではないか伺う。 3. 道路等の維持管理について 市道・農道等の維持管理のために、草払い等の機械化を進められないか伺う。

7	吉留 良三	市長 教育長	1. 食育の推進について 国の第5次食育推進基本計画は、健康増進はもとより、食糧安全保障の重要性への対応などを求めている。市も4次計画の総括から、次期計画へのしっかりした対応が、地域経済立て直しにとっても大事ではないか。 (1) 「農業教育」をどのように深めていくか。 4次計画では、項目の8割が目標値に届かず、7割で数値が悪化した。食卓と生産現場の距離が広がっているとされる。学校での農業教育の拡充など求められるのではないか。 (2) 新たに求められる「大人の食育」の推進で、健全な食生活の実現とともに、適正価格形成を理解し、地場産を選ぶ市民を増やすべきとされる。若い世代の食の乱れや、国産に拘らないなどの意識状況もあり、生産現場へのかかわりなど強めるべきではないか。 (3) 第5次計画は、健康増進のみならず「食料安全保障」の重要性への対応など求めている。食育の新たな展開が求められる。 健全な食生活の実践には、国内生産基盤の維持・強化が不可欠だ。国内外の気候変動や激動する経済状況を踏まえ、「食」を取り巻く環境の理解促進が必要ではないか。
8	奥吉 拓郎	市長	1. 洋上風力発電について (1) 洋上風力の経済的リスクについて伺う。 (2) 理解醸成活動の実績と今後の予定について伺う。 (3) 国（環境省）も低周波による健康被害の科学的知見を持っていない印象を受けたので、今すぐ情報提供を取り下げるべきではないか。 (4) 洋上風力ではなく、小水力発電を推進するべきではないか。 2. 職員のモラルと職場環境について (1) 職員の市民に対する態度への不満の声を聞いたが、職員の接遇教育について伺う。 (2) 市職員の公民館活動への参加について伺う。 (3) 職員がモチベーション高く業務を行うための市の取組について伺う。 3. 地震への備えについて (1) 水・食料の備蓄について伺う。 (2) 避難所のエアコンの設置状況、電源の確保の状況について伺う。 (3) 衛生環境（特にトイレ問題）の対策は万全か伺う。また、トイレカー、ランドリー設備、入浴施設等の設置が望まれると思うが市の見解を伺う。 (4) 串木野新港の液状化の危険性について伺う。 (5) 水道管の耐震化率と市内に井戸水を使用している世帯数について伺う。 (6) 市内の宿泊施設等を災害時に利用できないか伺う。 (7) 国道3号、南九州道が使えなくなった場合の代替路の状況について伺う。 (8) 海からの人の輸送、物流にも備えておくべきではないか。